

# 南硫黄島周辺海底火山の最近の活動等について\*

海上保安庁水路部

伊豆小笠原・マリアナ火山弧に属する海底火山の一つである日光海山（北緯 $23^{\circ}04'45''$ 、東經 $142^{\circ}18'50''$ ）の山頂付近において1979年7月12日に変色水の存在が確認された。福德岡の場は相変らず火山活動を継続中であり、福神海山は1978年8月25日以来8か月ぶりに変色水の存在が確認された。南日吉海山は1978年3月24日以降、火山活動は認められていない。日光海山の位置及び水深等については本会報第10号に掲載済みであるが、その後の資料解析の結果、中日吉海丘、日光海山、三福海山及び昭洋海山の4海山（海丘）について水深が改正されたため南硫黄島南方海域の海山名（第5表）及び南硫黄島南方海域海山分布図（第1図）を再掲する。また、明神礁においても1970年の活発な噴火活動以後しばらく鎮静化していたが1979年7月13日に変色水の存在が確認された。なお、明神礁の近年の主な活動は、1952年、53年、1960年、1970年と7ないし10年間隔であり、前回の活動から10年を経過しているので今後の火山活動に十分注意する必要があろう。本会報第15号に報告した後の各海底火山の火山活動の経過は以下の通りである。

## 1. 福神海山（通称 福神岡の場） 北緯 $21^{\circ}56'$ 東經 $143^{\circ}28'$

1978年8月25日に薄い変色水が認められて以降しばらく静かであったが、1979年4月に再び薄い変色水が認められた。当庁が入手した資料による1979年2月8日以降の火山活動の経過は第1表の通りである。

第1表 福神海山の火山活動の経過

期 日	活 動 状 況	通 報・観 測 者
1979年4月26日	約30mの拡がりをもつ青緑色の変色水	海上自衛隊第四航空群
6月15日	変色水認められず	"
7月12日	形状不明瞭な2か所の薄い緑色変色水	海上保安庁 YS-11(701号機)

## 2. 日光海山（通称 日光場） 北緯 $23^{\circ}04'45''$ 東經 $142^{\circ}18'50''$

過去、本海山における火山活動の記録はない。火山活動の経過は第2表の通りである。

第2表 日光海山の火山活動の経過

期 日	活 動 状 況	通 報・観 測 者
1977年 5月18日～6月6日	付近海域の海底地形測量実施、山頂部水深612mを測深	海上保安庁 測量船 昭洋
1979年7月12日	薄い緑色の変色水、約500mの扇形状	海上保安庁 YS-11(701号機)

\* Received July 31, 1979

### 3. 南日吉海山(通称 日吉沖の場) 北緯23度3.04分 東経141度5.43分

1978年3月24日以後火山活動は認められていない。当庁が入手した資料による1979年2月8日以降の火山活動の経過は第3表の通りである。

第3表 南日吉海山の火山活動の経過

期日	活動状況	通報・観測者
1979年3月27日	変色水認められず	文部省チャーター機 セスナ402-B
4月26日	"	海上自衛隊第四航空群
6月15日	"	"
7月12日	"	海上保安庁 YS-11(701号機)

### 4. 福徳岡の場 北緯24度18.1分 東経141度29.0分

南硫黄島山頂から北々東4~5海里の地点に噴出点があり、断続的な変色水の湧出が継続している。当庁が入手した資料による1979年3月27日以降の火山活動の経過は第4表の通りである。

第4表 福徳岡の場の火山活動の経過

期日	活動状況	通報・観測者
1979年4月26日	半径約70mの円内に青緑色の変色水を4か所認める	海上自衛隊第四航空群
6月15日	変色水認められず	"
7月11日	"	海上保安庁 YS-11(701号機)
7月12日	扇形状の青色変色水	"

### 5. その他の海底火山

明神礁 北緯31度5.45分 東経140度0.09分

明神礁は1970年の活動以後しばらく、火山活動が認められていなかったが1979年7月13日に海上保安庁の航空機(YS-11)により変色水の存在が確認された。火山活動の様子は以下の通りである。

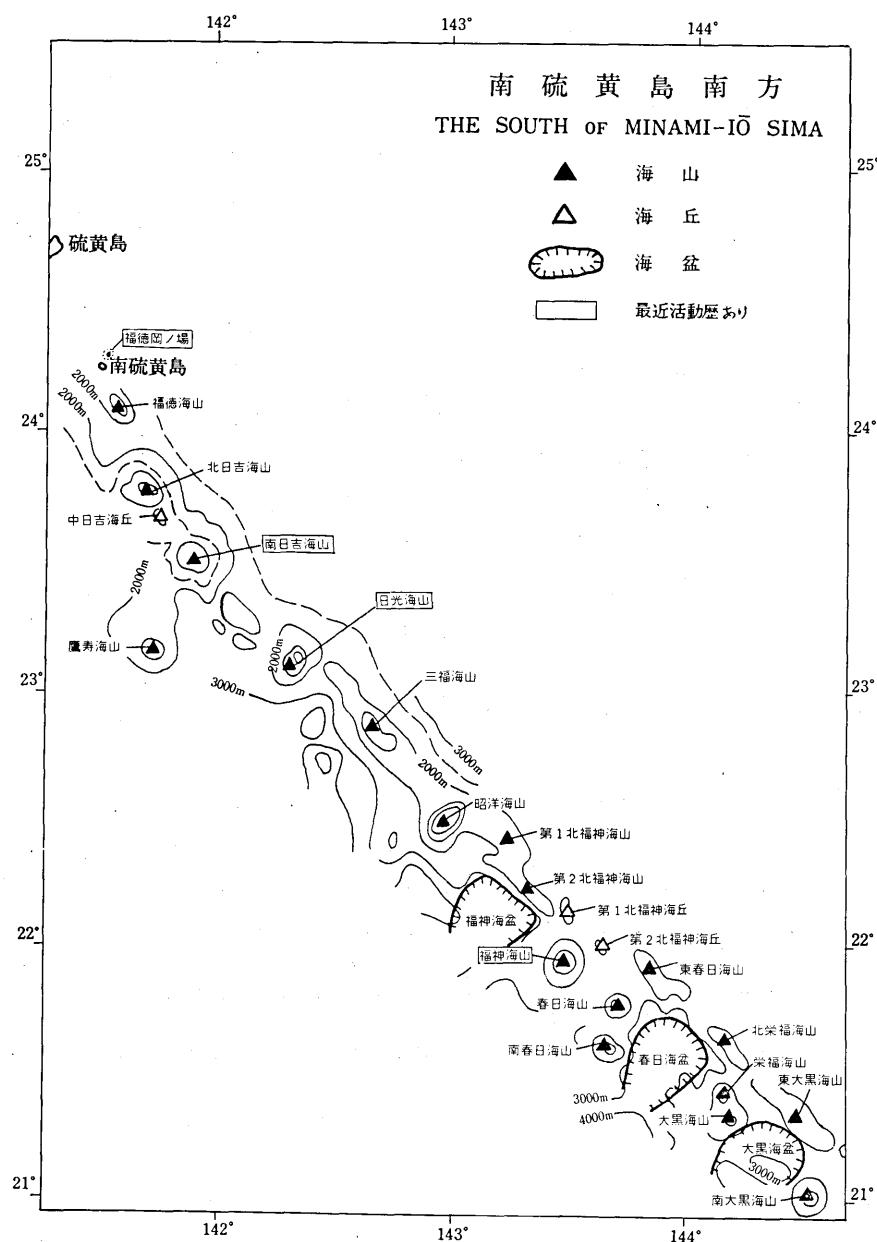
期日	活動状況	通報・観測者
1979年7月13日	東西方向に約1km拡がった薄い緑色の変色水を認める オメガによる変色水の位置 北緯31度5.4分 東経139度5.9分	海上保安庁 YS-11(701号機)

第5表 南硫黄島南方海域の海山名

名 称	位 置		水 深 m	慣習名(漁礁名)
	北 緯	東 経		
福 德 海 山	24° 0 3.0'	141° 3 7.0'	201	福德南の場、海徳場
北 日 吉 海 山	23° 4 5.0'	141° 4 2.5'	214	日吉岡の場
中 日 吉 海 丘	23° 3 5.3'	141° 4 8.5'	630 **	日吉中の場
南 日 吉 海 山	23° 3 0.4'	141° 5 4.3'	( 30 )*	日吉沖の場
鷹 寿 海 山	23° 1 3.5'	141° 3 3.0'	( 56 )*	鷹寿場、鷹寿西の場
日 光 海 山	23° 0 4.5'	142° 1 8.5'	612 **	日光場
三 福 海 山	22° 5 1.5'	142° 3 9.5'	446 **	三福場
昭 洋 海 山	22° 2 8.5'	142° 5 8.5'	572 **	
第1 北福神海山	22° 2 5.8'	143° 1 2.0'	1,390	
第2 北福神海山	22° 1 7.0'	143° 1 6.7'	1,110	
第1 北福神海丘	22° 0 6.7'	143° 2 9.8'	1,780	
第2 北福神海丘	21° 5 9.8'	143° 3 8.6'	2,180	
福 神 海 山	21° 5 6'	143° 2 8'	( 3 )*	福神岡の場
東 春 日 海 山	21° 5 5.7'	143° 4 9.5'	1,360	
春 日 海 山	21° 4 5.9'	143° 4 2.6'	598	春日場
南 春 日 海 山	21° 3 6.0'	143° 3 8.2'	274	春日南の場、福神中の場、福神沖の場
北 栄 福 海 山	21° 3 8.4'	144° 0 8.5'	1,460	
栄 福 海 山	21° 2 4.7'	144° 0 8.9'	297	栄福場
大 黒 海 山	21° 1 9.5'	144° 1 1.4'	492	大黒場、水天場
東 大 黒 海 山	21° 1 9.8'	144° 2 6.4'	1,470	
南 大 黒 海 山	21° 0 2.4'	144° 3 1.7'	817	光照場

\*( ) 水深は報告水深である。

\*\*は昭和51年及び52年海上保安庁水路部の測量成果により水深改正



第1図 南硫黄島南方海域海山分布図